

人と活動のつながりづくりを応援する

にしとも広場

「こんにちは!」「おじゃまします!」
想いがつながる‘みんなのおうち’

2024
23号



特集

一軒まるごと‘みんなのおうち’

戸建てを活用した地域の居場所「にこにこはうす」「ばあばの家あさだ」

登録団体インタビュー：「フォトラボ・ルーチェ」

活動報告：にしとも音楽祭

新規登録：「西区街の名人・達人」のご紹介



一軒まるごと‘みんなのおうち’

戸建てを活用した地域の居場所を紹介します



伊藤さん（左上） 秋末さん（左下）

「スマホ相談会」（中央上）バザーがきっかけの「書道教室」（中央下）「にしろく・ふれ愛カフェ」（右）

誰でも来られるみんなの居場所「にこにこはうす」

〈お話を伺ったのは〉

子ども居場所検討会 代表 伊藤美紀さん

にこにこはうす 館長 秋末悦子さん

浅間台地域ケアプラザ 職員 栗田理絵さん

立ち上げの経緯を教えてください

栗田：にこにこはうすのオープンは2022年12月。オーナーさんから「自宅を地域に貢献できる場として活用したい」と提案があり、西区第六地区でこども食堂や学習教室を開催していたボランティア団体「子ども居場所検討会」（以下、「検討会」と、浅間台地域ケアプラザが協力して運営することになりました。

一軒家の魅力

一軒家を活用できるのは嬉しかったのでは

秋末：地域活動などができる「みんなの居場所」として一軒家が活用できれば、きっと色々なことができるという期待がありました。

栗田：浅間台地域ケアプラザは坂の上、高齢の方には来づらい場所にあります。ですから、平らな土地

に集まれる場所ができることで、そこからつながりが広がればいいと思いました。

伊藤：私は家賃や水道光熱費が発生することがとても不安でした。今は西区社会福祉協議会からの助成金とバザーなどの小まめな収益で何とかやりくりしている状況です。

秋末：ボランティアでの地域活動と費用を賄うための運営を両輪で考え、バザーを開いています。

伊藤：このバザー自体が「居場所」になって、面白いつながりが生まれていますね。家の不用品を寄付してくれる人、おしゃべりしているうちにここで講座



「にこにこママのホットタイム」

やサークル活動を始めることになった人、その講座やサークルの参加者からここで新しい活動を始めることになった人などがいます。

「居場所」があるからこそ、できることですね

秋末：特技などを活かしたいときに、ここを使って何でもできることを知ってもらえれば嬉しいです。



「にしろく・ふれ愛カフェ」のこだわりのコーヒー



やさしい声で「お話し会」

うちのメンバーは最強

お二人ともお仕事や他の活動と掛け持ちで忙しいのに、とても楽しそうです。元気の源はどこにあるのですか

秋末：私は人と話すのが好きで、話しているうちに元気になれます。さらに「あなたと話すと元気になる」と言われると、ますます元気にしたくなって自分に発破をかけられます（笑）

伊藤：「同じ方向を向いている人たち」と一緒に自主的に活動しているから、楽しくなれるのだと思います。「検討会」のコアメンバーは15名。個々人が得意な分野（料理、子育て、落語、アート等々）で

活躍していて個性が豊か、しかも人柄もいい。うちのメンバーは最強！（笑）

栗田：そんな最強メンバーがそれぞれの得意なところを活かして、お互いに補いあっているところがいいです。

一緒にやりませんか

今後、やってみたいことはありますか

秋末：私たちは「子ども居場所検討会」なので、将来的にはここを「放課後に子どもたちが自由に遊びに来られる児童館のような施設」にもしたいと考えています。そのためにはもっと多くのメンバーが必要です。

伊藤：今でもメンバーが足りず、オープンできない時間帯があります。

秋末：働ける人たちはみんな仕事をしているので、仕事をしながらできる活動方法を模索してはいるのですが。

伊藤：子どもたちからリクエストのある Wi-Fi の準備もしないと。今は Wi-Fi がないからゲームやタブレットも思う存分使えません。ただ、Wi-Fi を導入するにも費用がかかるので資金面で難しいです。

秋末：企業や団体から、資金面で継続的な支援を受けられる仕組みがあれば嬉しいです。

伊藤：私たちは子ども食堂や学習教室も開催しています。どれか少しでもやってみたいと思ったらお気軽にお越しください。お待ちしております。

施設情報



住所：西区浅間町3丁目166-1

主催：子ども居場所検討会

後援：第六地区社会福祉協議会

西区社会福祉協議会

浅間台地域ケアプラザ





「椅子に座って体操」グーチョキパー（左）

早川さん（右上） 糸賀さん（右下）

多世代交流サロン「ばあばの家あさだ」

＜お話を伺ったのは＞

ばあばの家あさだ 代表 早川サタ子さん

ぐらんまのいえ 施設長 糸賀慶子さん

開所のきっかけを教えてください

早川：オーナーである浅田隆子さんのヘルパーとしてお宅を訪問していました。隆子さんが14年前に九州にいる息子さんのところへ引越されることになり、息子さんから「この家を地域の方のために使ってください」と声をかけていただいたことをきっかけに、一軒家の浅田邸を法人で活用することになりました。隆子さんはちぎり絵や華道の講師でもあったので、以前から地域の方々が出入りしていたお家でもありました。

開所当時のエピソードがあれば

早川：当初は運営費として西区社会福祉協議会の「にこまち助成金」を3年間いただきました。また、地域の皆さんに知ってもらうために、毎月バザーも行いました。ご近所の方々もおしゃべりしながら品定めするのを楽しみに来られていました。

糸賀：今となっては「ばあばの家あさだ」として地図に掲載されていますが、最初は抵抗感のある方もいましたよね。

早川：当初は「NPOって何？」とか、「集まって何をしているの？」と、不審に思われることも多かったのですが、季節毎のイベントを通して多世代交流サロンとして徐々に定着していきました。赤ちゃん連れのママ達からは「本当のばあばの家みたい」という声も聞こえました。

糸賀：未就園児の親子の利用も増えてきたので、横浜市補助事業「親と子のつどいの広場」*として「ぐらんまのいえ」を開設しました。大きな窓と広い畳とリビングのある明るくゆったりとした空間は親子が気軽に立ち寄り、ほっと息抜きできる居場所になっています。

一軒のお宅で子育て支援と介護予防

一軒のお宅で2つの事業をしているのですね

糸賀：「ぐらんまのいえ」は週3日（火・水・木曜日）開催しています。自由に遊べるほか、0歳児たいむやキッズタイム、親子ヨガ、誕生日会、地域の保育士さんとお話しできる日もあります。

早川：「ばあばの家あさだ」は、月曜日はシニアサロンとして「タブレット」を使って脳トレや麻雀を行っており、金曜日に横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業通所型支援（サービスB）の事業として

*「親と子のつどいの広場」とは、民間団体がマンションや一軒家で運営する、0歳から未就学児（主に0～3歳）とその保護者を対象とした、親子の交流、情報交換、子育て相談などを行う場です。

体操や健康麻雀を開催しています。健康麻雀は町内会長さんのお勧めもあり、7～8年前から定着しています。台や牌も地域の方が寄付してくれました。また当初より「食」を大切にしているので、サービスBとシニアサロンの日には、スタッフによる手作りのランチも提供しています。



今日のランチはカレー？ サラダ作り中!!

「ここに来れば誰かに会える。 ここがあれば安心できる。」

これからのことや、皆さんに伝えたいことは

早川：ここは私にとっても思い入れのある居場所です。開所当時に誰かが言ったひとこと「ここに来れば誰かに会える。ここがあれば安心できる。」をモットーにこれからも「ここを守っていく」という気持ちが一番強いです。

糸賀：私も、ここがあるからとても助かっています。子育てに一生懸命なお母さん達に寄り添い、子どもたちの成長を一緒に見守っていけたら、と願ってい



「ぐらんまのいえ」のイベントのーコマ

ます。「ここがあって良かった」と言ってもらえることが何より嬉しいです。

早川：コロナ禍の前にやっていたバザーなどの多世代の交流も再開できるといいと思っています。

糸賀：そのためには、人手が必要ですよ。私たちは NPO 法人として事務局があり、補助金もあるので継続はできていますが、一緒に働いてくれるスタッフが不足しています。シニアボランティアの活動場所としても登録しているので、多世代の交流の場としても、まずは是非、遊びにきて活動を見てほしいです。

早川：困ったときの「お互い様」。そんな軽い気持ちで、参加してください。そして自分の好きなことを一緒にやりたい!と思っている人も是非ここを「居場所」として使ってくると嬉しいです!!

糸賀：みんなが少しずつ手を貸して、みんなが幸せになれるといいですね。

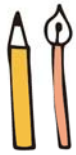
施設情報



住所：西区境之谷30-6

電話：045-341-4248（月～金 10時～15時）

運営法人：特定非営利活動法人 ワーカーズ・コレクティブ
たすけあいぐっぴい



登録団体インタビュー「フォトラボ・ルーチェ」



にしとも広場には、まちづくりや地域課題の解決、子育て支援、趣味・特技を活かした文化・芸術活動をしている市民活動団体等が数多く登録しています。このページでは、登録団体みなさんにインタビューし、その活動を紹介します。

「フォトラボ・ルーチェ」は、「にしとも広場」というオープンなスペースで、写真が大好きな人たちが各自の目標を持って楽しく学ぶカメラ教室です。代表の大森千晶さん、^{はざま} 裕大輝さんにお話を伺いました。

立ち上げの経緯 ～撮る楽しさを伝えたい～



大森：自身が撮るだけでなく、撮る楽しさを伝えたいと思い、フォトインストラクターの資格を取得しました。「フォトラボ・ルーチェ」は、試験と一緒に合格した黒田耕治さんに誘われて立ち上げ、2019年2月ににしとも広場に登録しました。「ルーチェ」はイタリア語で「光」。カメラは光を記録します。その「光を研究する」ラボのイメージで黒田さんと名付けました。黒田さんが2022年9月に転居のため辞められた際、友人の裕大輝さん、遠藤誠さんにスタッフとして参加してもらい、現在の体制になりました。

活動の内容 ～体系的なプログラムに沿って～



大森：毎月1回にしとも広場で活動しています。カメラの仕組みやテクニカルなことが理解できるような体系的な講座を開催しています。ベーシック編、アドバンス編を各10回のプログラムで実施しており、現在はアドバンス編まで進んでいます。講座の最後には毎回皆さんの作品を講評しています。

裕：この活動に誘われたときは、カメラを始めてまだ2年も経っておらず不安もありました。自身のカメラについての学び直しになると思い参加したのですが、皆さんから教わることや気づきが多いと感じています。プログラムでは、毎回、宿題としてこちらが用意したテーマに沿って、個々に撮影した写真を提出します。その写真からテーマをどう解釈したか、他の視点や考え方を皆さんで共有できることが、とても刺激になります。自分は参加者に近い

立場だと思っているので、大森さんの講義を噛み砕いて、皆さんの目線に合わせて復習をする役目を担っています。

今後の展望 ～外の世界へ～



裕：アドバンス編が終了したら、誰でも参加できるスポット講座を再開したいと考えています。

大森：皆さんに支えられて楽しく講座運営をさせて頂いています。スポット講座をはじめ、街中や公園での撮影・鑑賞会などを企画したいです。同じ場所で撮影しても、撮る人によって違う写真が撮れるので、楽しみです。

裕：にしとも広場で写真展も開いてみたいです。画面で見ただけではなく、プリントしてじっくり見る、見てもらうことも大切です。そこから発見や新しいつながりも生まれると思います。



皆さんの写真の前でハイ、ポーズ
(左から)
遠藤さん
大森さん
裕さん



講座の様子



活動報告 第1回「にしとも音楽祭」

情報紙「にしとも広場」第22号での座談会から約半年。なんと、本当に「音楽祭」を開催することができました！当日演奏したのは、「西区街の名人・達人」に登録の音楽アーティスト12組。和太鼓、アコースティックギターの弾き語り、ポップスやジャズのバンド演奏、クラシック曲のアレンジやトーンチャイムの演奏等々、多彩なパフォーマンスが、次から次へと箱の中から飛び出てくるかのような、そんなプログラムでした。会場には、午前中から夕方まで途切れることなく、延べ153名の方々が足を運んでくださいました。心より感謝申し上げます。

そしてこの音楽祭は、演奏するアーティスト自身が実行委員として運営に携わりました。会場装飾や軽食の販売では、他の分野の名人・達人の方々や、区内の福祉施設にもご協力いただき、まさに「手づくりの音楽祭」となりました。

会場のみなさんからは、今後も続けてほしいというお声を多くいただきました。いただいたご意見・ご感想を一つひとつ大切に、実行委員とともにこれからも「生の音楽」で元気の素をお届けできたらと考えています。「西区街の名人・達人」のこれからの活動とにしとも音楽祭の今後にご期待ください！



開催日：2024年6月30日（日）

開催場所：西区役所3階 会議室

主催：にしとも音楽祭実行委員会 共催：にしとも広場

杉豊太鼓同好会の
皆さん

新規登録「西区街の名人・達人」のご紹介

（2024年1月～6月登録）

地域人材ボランティア「西区街の名人・達人」とは、仕事や趣味で培った、自分の経験・知識・技術を活かして、地域のイベントや講座などで活動する、ボランティア人材登録制度です。このページでは、「西区街の名人・達人」に新規登録いただいたみなさんをご紹介します。

コーディネートはにしとも広場にご相談ください。



みおさん
《アコーディオン》



嶋本 和子さん
《玄米ダンベル体操》



増田 晃さん
《終活・遺言・相続・成年後見》



島本 ますこさん
Hula Lei Maika'i
《フラダンス》



動きの博物館
狩野 健二郎さん
《フェルデンクライス》



嬉氣 利誠さん
《端唄・俗曲 三味線》

お知らせ

にしとも広場 アート展



にしとも広場で、西区街の名人・達人に登録されている皆さんの作品を展示します。芸術の秋をご堪能ください。

期 間 2024年11月1日(金)～11月30日(土)

場 所 にしとも広場

参加方法 開館時間にいつでもお越しください



編集後記



今回の特集で初めて、活動の現場を訪問する取材に挑戦しました。「シニアにはきついのよ…」とお聞きしていた坂道を上ったり、取材先の周辺を歩いてみたり、イベントや事業に参加したり。今まで伝聞や画像でしかなかった情報が、空気感までリアルに思い出せる実体験になりました。記事にも、現場に伺ったからこそ聞かせていただけた本音を書けたと思います。

これからも、活動先を訪問し、共体験することで、現場のニーズに合わせた支援ができるよう心がけていきます。(担当：M)

皆さまのご意見・ご感想を
右の QR コードよりお送り
下さい。



次号にしとも広場24号は、2025年3月発行予定です。お楽しみに！

“にしとも広場”ってどんなところ？

にしく市民活動支援センター“にしとも広場”は、人と活動のつながりづくりを応援する場です。「何か始めたい」「活動の場を広げたい」「活動に役立つ情報を知りたい」といったご相談をお待ちしています。



にしとも広場ホームページ



にしく市民活動支援センター
にしとも広場



管理運営：認定NPO法人市民セクターよこはま

TEL/FAX：045-620-6624

Eメール ni-shiencenter@star.ocn.ne.jp

ホームページ <https://nishitomo-city-yokohama.jp/>

住 所 横浜市西区中央1-5-10 西区役所1階

開館時間 9:00～17:00

休館日：毎週水曜日・年末年始(12/29～1/3)

アクセス 京浜急行「戸部駅」徒歩8分
相模鉄道「平沼橋駅」徒歩10分

